

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習 II		
担当者(Instructors)	梶浦 恭子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

子どもが夢中になり遊べる保育室や園庭の環境について教員の考えを前期に学生に伝えてきた。学生の興味・関心について、下記1, 2の具体的な場所、対象物、保育内容を基に、取り組む研究テーマの設定は前期に行った。研究テーマに基づいて、自らの考え(仮説)に根拠をつけて説明する力、仲間と協力して活動する対人関係能力を養うことを継続する。1. 身近な生活素材である紙、布類や、自然物の草花や、木の実、枝葉、そのほかの遊び(例: 集団遊び)を保育室・園庭に環境構成を計画する教師(保育者)の援助方法について、演習を通して疑問や問いを持ち、探求し、追究する意欲的態度の大切さを伝え、確かめ合う。資料収集、演習、交流の中で、保育、幼児教育の考え方や見方の多様性を想像し、創造する面白さ、チーム(仲間)と協力し行う楽しさを、前期に継続して育成する。2. 天声人語や新聞記事や、幼稚園教育要領解説等を活用したレポート作成を課題とする。読み取る力、書く力、説明し伝える力を、継続して育成する。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	課題に対しディスカッションやグループワークを用い、必要に応じてフィールドワークを行う。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション 授業の計画と説明、後期注意事項	後期注意事項(履修の手引き・履修登録確認、時間割記入用紙配布) 大学祭、各実習、ゼミ発表についての確認	<input type="checkbox"/>
第2回	ゼミ活動①これまでのゼミ内研究実践の成果と課題と、大学祭(中止の場合は児童館等)の活動とゼミ活動の関係を確認する	保育園(児童館)の環境構成と子どもの動きを予想する意見交流、自己課題テーマ追究の確認 (前期継続: 物と人の位置、安全確認、環境づくり)	<input type="checkbox"/>
第3回	情報検索ガイダンス(中級)、図書利用について	図書館職員説明 情報検索理解度確認 (レポート提出: 4回目)	<input type="checkbox"/>
第4回	研究講話 講師による「研究の進め」	研究論文を作成するにあたっての土台: テーマ・目的・調査方法: 情報収集の重要性・結果・発表)	<input type="checkbox"/>
第5回	ゼミ活動②自然・伝承・鬼あそび場の活動 「児童文化」の意味・意識化を目指した遊びの活動と環境構成実践	具体的計画案作成に関する資料、映像鑑賞(手遊び・音遊び) ・保育教材(絵本と手遊び)の交流	<input type="checkbox"/>
第6回	ゼミ活動③自然・伝承・鬼あそび場の活動内容(決定)と環境構成とイメージ行動の意見交流	具体的計画案作成に関する資料、映像鑑賞(シアターの扱い方) ・保育教材(スケッチシアター、パネルシアター)の交流	<input type="checkbox"/>
第7回	ゼミ活動④保育園、児童館活動等、について指導案作成 (例: 子ども参加の自然・伝承・鬼あそび)	具体的計画案作成に関する文献資料の必要性について ・保育教材の意味(児童文化)、価値ある文献調査	<input type="checkbox"/>
第8回	オンラインゼミ課題・保育園、児童館活動等、環境準備物、保育者の具体的指導方法の指導案記載(個人による課題)	ゼミテーマ確認と自己課題について ・自然遊び・伝承あそび、絵本と手遊びの実践と振り返り、	<input type="checkbox"/>
第9回	オンラインゼミ課題・活動実践を省察、まとめ(個人による課題) (個人・ゼミ小グループ活動)	ゼミテーマ確認と自己課題について (レポート提出: 10回目) ・遊びの実践を振り返り、成果と課題(自己課題の追求レポート)をまとめる	<input type="checkbox"/>
第10回	ゼミ活動⑤研究実践結果の振り返りと成果をまとめる (個人・ゼミ小グループ活動)	・遊びの実践を振り返り、成果と課題のレポートを基に発表する ・気づき、感想の意見交流	<input type="checkbox"/>

第11回	ゼミ活動⑥研究結果のゼミ内の発表と考察 (個人・ゼミ小グループ活動)	後期の振り返り ・ゼミ活動全体をまとめるための意見交流(実習から得られた学び)	<input type="checkbox"/>
第12回	ゼミ活動⑦研究発表資料の意見交流と発表資料作成 (個人・ゼミ小グループ活動)	後期の振り返り・これからの実習に向けての心構え(現2年生の他グループに向けて発信したい私の実習から得た学び)	<input type="checkbox"/>
第13回	ゼミ活動⑧研究発表パワーポイントや保育教材の資料作成 (ゼミ全体役割分担活動)	ゼミ発表のためのパワーポイントや保育教材内容の確認	<input type="checkbox"/>
第14回	学年ゼミ ・3年生ゼミ分け説明会(専門演習ゼミ研究課題思考) ・研究発表の準備	3年生のゼミ分けについて内容や注意点を理解する 研究テーマ・実践と保育教材・発表内容の準備と最終確認	<input type="checkbox"/>
第15回	ゼミ活動⑨研究発表(研究成果の発表)	研究テーマに沿った発表とその成果レポート 気づきをレポート記述・まとめ(提出1月内)	<input type="checkbox"/>

#### ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

・事前学習として次回の授業テーマに関連する内容について資料をまとめる(2時間程度)。・事後学習として、授業でわかったことや疑問に思うこと意見・感想をノートに整理する。出された課題レポートをまとめる(2時間程度)。

#### ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題の設定内容、発表内容について、妥当な内容か、教員は、補足、説明を加えて再考できるようにする。各自、教師、保育者としての専門性が重ねられるよう、小レポートで意見をまとめて提出する。添削して返却し、考え方、記述方法(3段落、誤字脱字、書き言葉、である調等)をフィードバックする。

#### ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	保育者の免許と資格に必須の知識と基礎的・実践的な技能について、資料収集や調査方法の手法を理解し、それらの結果をもとに自分の考えを構築し、修正して深めたりできる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	現代の教育・保育現場の多様な問題や課題に正面から向き合う力強い思考力・判断力、豊かな表現力習得について、課題研究では、先行文献、演習体験をもとに分析し、自らの考えを根拠をつけて説明することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	幼・小・保をはじめとする児童福祉施設での教育・保育に主体的協働的に携わる幅広い人間力を体得するについて、仲間と協力して活動する中で、他者と協働して問題を解決することができる。

#### ■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験(in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

#### 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

演習課題(70)「ゼミ活動テーマを探索した内容と意見を述べて決めよう(20)」「幼児と遊ぶ活動計画案について：予想活動・環境図レポート(20)」「ゼミ研究活動テーマとして文献調査のまとめ：取り組む理由とねらいの導き(20)」「ゼミ発表の考察とまとめ(10)」

#### ■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	前期と同じ	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	にほんのあそび研究委員会／編「にほんのあそびの教科書」東京：滋慶出版 土屋書店	
2	かこさとしこどもの行事しぜんと生活(全12巻セット)	
3	・こんなにある草花遊び ②秋・冬/ 千葉幹夫文；宮下まさつら絵・親子で楽しむ四季の草花あそび・手づくりの草花グッズ・草花あそび・簡単にできる室内遊び①②	
4	・自然図鑑—動物・植物を知るために (Do!図鑑シリーズ)・生活図鑑—『生きる力』を楽しくみがく (Do!図鑑シリーズ)	
5		